



図書館見学ツアー特集

7月10日に図書館・司書課程主催による『図書館見学ツアー』が行われました。昨年までは後期の日程でしたが、今年は活動しやすい初夏の時期に移しての実施となりました。向かった先は福岡県。九州大学中央図書館（箱崎キャンパス）、福岡市総合図書館、福岡市博物館の三か所をメインに見学。参加者は司書課程を中心に、別府・大分キャンパスの学生30名、教職員7名の計37名となり、今年も多くの



学生に参加していただきました。移動中のバスの中では見学ツアー初の試みとして、FOBUS（図書館友の会）のメンバーによる見学先紹介が行われました。この日のためにツアー実行委員を結成し参加者との連絡や施設の事前調査など準備を行ってきた FOBUS さん。学生主体によるツアー実施の日も近いかもしれません。

図書館見学ツアー in 福岡

■ アンケート集計 ■

企画イベントの際にはいつも参加者の皆さんにアンケートのご協力をいただいています。今回は紙面の都合上、一部割愛してご紹介いたします。



1. 普段、公共図書館の利用頻度はどれくらいですか。

■ 頻繁に利用している ……1	
■ 時々利用している ……13	
■ 試験・レポート前のみ利用 ……5	
■ ほとんど・全く利用しない ……7	

5. 見学時間はどうでしたか。

	■ 長い	■ ちょうど良い	■ 短い
九州大学中央図書館	3	19	3
福岡市総合図書館	2	12	12
福岡市博物館	0	16	9
自由行動時間	3	20	3

7. 今後、今回のような見学ツアーに参加してみたいと思いますか。または定期的に行って欲しいと思いますか。

■ はい ……21	
■ いいえ ……0	
■ どちらとも言えない ……5	

2. 博物館や美術館等の施設を利用しますか。

■ 興味があり、利用する機会も多い ……4	
■ 興味はあるが、あまり利用したことがない ……17	
■ 授業や実習などで利用した ……4	
■ 興味がない ……1	

6. 引率職員や見学ツアー実行委員の対応はどう感じましたか。

■ 満足 ……12	■ おおむね満足 ……11
■ やや不満 ……1	■ 不満 ……1
■ 未記入 ……1	

3. ツアーの日程や時間帯についてどう感じましたか。

■ 良い ……23
■ 悪い ……3

4. ツアーの見学先についてどう感じましたか。

■ 良い ……22
■ 悪い ……4

晴天には恵まれたものの、初夏だというのにこの日の福岡は日中 30 度を超える真夏日となりました。



まず初めに九州大学の中央図書館（箱崎キャンパス）にお邪魔しました。現在の建物は1973（昭和48）年に開館、1987（昭和62）年に新館が増設されましたが、旧九州帝国大学まで遡ると90年近くの歴史になります。重厚感あるキャンパスを進み、到着した中央図書館では事務部長の濱崎さんと職員の吉松さんに出迎えていただきました。お二人からの説明を受けながらの館内見学では地下の開架書庫から5階の貴重書庫まで見せていただきました。今回は見学しませんでした九州大学では中央図書館のほかに



九州大学 中央図書館

医学図書館や伊都図書館、文系合同図書室など6つの分館があり、蔵書数は図書400万冊以上、雑誌9万タイトル以上を上り、近年では電子ブックや電子ジャーナルの導入にも力を入れているとのこと。

さて中央館入口フロアは吹き抜けとなっており、天井から自然光が差し込み開放感のある構造になっています。入口すぐ隣にはリフレッシュルームがあり、軽雑誌や新聞の設置とともに飲食や談話も可能なスペースとなっていました。また、別府大学の「ラーニング・コモンズ」にあたる「きゅうとコモンズ」と呼ばれるグループ学習スペースや、予約制の個室、アジア地域の資料が揃い海外衛星放送も受信できる「国際交流コーナー」など用途に応じて様々な設備が備えられていました。

開架閲覧室の次は地下の書庫へ。階段を降りると、フロア全体が通路を残して書架でズラリと埋め尽くされていました。案内札がところどころにあるものの、窓もなく自分がどの方向に進んでいるのか方向感覚が無くなってしまいそうなほど。利用の際は迷子に要注意です。

地下の次は5階の貴重書庫へ。普段は関係者以外立ち入り禁止の場所を、今回は特別に見学させていただきました。保存されている貴重書のなかには、1冊1500万円もする図書もあるとのこと。燻蒸を行う際に用いる薬品のため独特な臭いが漂っていましたが、目の前の古書に見入って動かない学生も数名いました。また貴重書を保存している書架も特殊で、地震など揺れを感じると自動的ストッパーがかかり、書籍が落ちないような構造になっているとのこと。

館内自由見学後、会議室にて職員の方々と質疑応答などを行いました。図書館の新たな試みとしてiPadを館内貸出しており、電子ブックとしての利用や授業での使い方をワークショップで実演していることや、滞在型図書館を意識したサービスへの取り組み、また別府大学の卒業生で現在九大大学院のライブラリーサイエンス専攻に進学した先輩の話など伺いました。参加

者の感想やレポートの中でも九州大学中央図書館はとりわけ印象に残ったようで、司書の資格を取得するうえでも大学図書館のあり方について考える良い切掛けになった様子です。

福岡市総合図書館 & 福岡市博物館

次に訪れたのは福岡市立中央図書館と福岡市博物館の隣接した2か所。どちらも福岡タワーも近くに見え、個性的な外観と1Fロビーの高い天井が特徴です。



福岡市総合図書館は現在120万冊以上の書籍を所蔵し、長時間の滞在を目指した飲食コーナーや談話コーナーも設置されています。広くて明るい館内は何度も訪れたくなるような空間でした。時間の関係上ゆっくりと館内見学できなかつたことが残念でした。

福岡市博物館では『古代七つの文明展』が開催中でした。駐車場の関係でこちらも駆け足での見学でしたが、史学・文化財の学生さんをはじめ歴史に興味のある方に好評でした。志賀島で発見された有名な金印も常設展示で見ることができます。これらの施設は博多や天神からバスで20分ほどなので、福岡まで行った際には足を延ばしてみたいかでしょう。



余談ですが、「古代七つの文明展」で図書館職員の間で特に人気だったのが、中南米文明コーナーに展示されていた右図のような謎の土偶。宇宙人のような妖怪のようなフォルムですが、「ベッカーリー」という名前のイノシシを模した土偶だそうです。見れば見るほど不思議な表情をしています。

ベッカーリー
作画/萩尾



自由行動

施設での見学も終了し、残りの時間は自由行動となりました。博物館からバスで移動すること数分、ももち浜、福岡タワー、テレビ局など、気ままに散策できます。この日は炎天下だったため屋内で涼を求める参加者も多かったようです。しかし中には徒歩でYahooドームへ向かった猛者がいたという噂も。



以上、今年も無事終了した図書館見学ツアーのレポートでした。参加者の皆さん、おつかれさまでした！参加者の皆さんの感想を4ページ目にまとめていますので、そちらもご覧ください。次回以降の参考にさせていただきます。

7/18 オープンキャンパス

前号でお伝えしました、7/18に行われたオープンキャンパスの館内展示にて、図書館同好会 FOBUL 有志による、活動内容と図書館見学ツアーレポートの展示をご紹介します。

1Fの円柱にぐるりと張り巡らされた模造紙には、ツアーでの様子が写真を交えて説明されており、とても豪華な仕上がりに。授業の合間を縫っての限られた制作時間ではありましたが、担当者以外の部員も協力して取り組んでおり、明るく活気のある現場でした。

低書架コーナーでは部活中の写真をパソコンでのスライド上映やユニフォームの展示、お勧め本の紹介、手作り葉の無料配布をなど盛り沢山でした。中でも葉は、表のイラストに6種類、裏のお勧め本紹介に10数種類、さらに文字色に5色のバリエーションがあるので、ぜひコンプリートしてみたいと思います。現在もカウンターにて配布しています。葉やユニフォームに描かれたサークルマスコット、うさぎの「フォビット」たちは必見です。

当日が台風の直撃を受けたり準備の時間が充分にとれなかったりと多難なスケジュールではありましたが、一致団結して素敵な展示を企画していただきました。FOBULの皆さん、ツアーの準備も含め、本当にご苦労さまでした。今後の活動にもぜひ期待していきたいと思ひます。

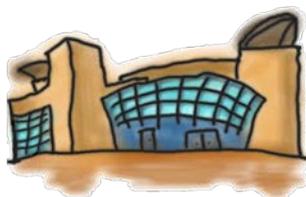


図書館見学ツアー in 福岡 感想&意見

アンケート用紙に記入していただいた中で参加者の皆さんの感想や意見をまとめました。一部抜粋してご紹介します。



- 暑かったが見所がたくさんあってよかった。
- 九州国立博物館など(ツアーで行って欲しい場所)
- 福岡市総合図書館の見学時間(自由時間)が短かったのが残念でした。施設どこも広大でスゴかったです。次は熊本での図書館にしてみたいです。
- 博物館をもっと見学したかったです。
- 楽しかったです。
- 実行委員は実行委員で前の方の席に固めておくと良いと思いました。
- 施設によっては見回りきれない場所もありましたがおおむねスムーズに進んで、楽しむことができて良かったです。
- 別府大学の図書館とは違う特色を持った場所を見学できて良かったです。また参加したいと思いました。
- 福岡市図書館の見学時間をもっと長くしてほしいです。まだまだ見たいところがあったけど、落ちついて見学できませんでした。
- 行ったことがない場所へ行くのは楽しかったです。ありがとうございました。
- 見学した3ヶ所の滞在時間にムラがあったと思います。自由行動が思ったより長かったのも、それなら図書館と博物館をゆっくり見たかったです。あと車内が暑かったです。
- 思ったよりも楽しかった。勉強にもなったのでためになった。
 - 自由行動で遊べる場所が少ないのでもう少し遊べるようなところがよかった。
 - 図書館ツアーなのに図書館の中をゆっくり見られなかったのが不満です。午後から合流し、その1点だけだったのにとっても残念です。自由時間があるからその時ゆっくりと思っていたが、バスでタワーへ移動してしまうので、結局テレビ局や福岡タワーの見学などどうしてもよいところに時間を費やすならば、博物館に残りました。もう少し時間配分を考えてほしいと思います。図書館をゆっくり見たかったの一言に尽きる。
 - 時間は厳守。実行委員はバラバラではなく一箇所に集まって座ること。
 - 図書館、博物館を見学して充実した。自由行動も充実させたかった。
 - 司書課程の授業で習った施設を見ることができて良かった。
 - 思っていたより、すごく楽しくてまた個人的に行きたくなくなりました。



～編集後記～ 7月に行った図書館見学ツアーを懐かしく思い出しながら、年末の慌ただしさに急かされてようやく見学ツアーの記事をまとめることができました。参加者の皆さん、大変お待たせいたしました！ツアー当日予想外の暑さ対策と後半の時間配分の甘さなどに反省点が残りましたが、来年度も前期に図書館見学ツアーを行えたらと考えています。2012年も図書館を盛り上げていきたいと思います！

小野

次号予告

電子ジャーナル 最新情報

*11月末に行われた選書ツアーの様子も近々特集いたします

ARGONAUTES かわら版 第12号

図書館見学ツアー特集

2011年12月28日発行

編集・発行：別府大学附属図書館

〒874-8501 別府市大字北石垣 82

電話：0977-66-9633 FAX：0977-66-9632

別府大学附属図書館ホームページ

<http://www.beppu-u.ac.jp/library/>

携帯版OPAC(蔵書検索)

<http://lib-opac.beppu-u.ac.jp/mobileopac>

